

1 研究主題

(令和5～7年度 3か年継続研究 3年次)
ふるさと釧路でともに学び 豊かな社会を創る児童生徒の育成を目指す学校教育の推進

2 研究推進の概要

(1) 釧路校長会研究協議会の開催

○第1分科会「組織マネジメント」

「地域総がかりで取り組んだ推進小委員会による学校力の向上

～『令和6年度学校力向上に関する総合実践事業』の取組を中心に～」

◇鶴居村校長会の提言発表

○第2分科会「人材育成」

「『令和の日本型学校教育』を担う教師の資質・能力の向上を目指す校長の指導力

～多様な人材を活用し、教職員個々の強みを活かした学校経営～」

◇標茶町校長会の提言発表

○各分科会での協議（研究協議テーマ）

協議① 分科会提言に基づくグループ協議

協議② 個人レポートの内容に基づくグループ協議

(2) 研究紀要の発行

(3) 各種会議の開催、各種大会への参加

3 研究の成果と課題

(1) 釧路校長会研究協議会について

○研究主題のもと、2人の校長が課題別テーマに即した提言発表を行った。自校の実践にとどまらず、校長会としての組織的な取組や関係機関との連携について発表する機会となった。また、直接協議テーマとはしなかったものの、道小根室大会における提言を再現する場を設けたことで、道中会員の校長にも研究内容を共有化することができた。

○各分科会では、提言発表や個人レポートの内容に基づき、課題解決に向かう校長の指導性について協議した。学校力の向上と信頼される学校づくりに生かすことができる実りの多い研修となった。

・第1分科会「組織マネジメント」

研究の視点：学校経営ビジョンの実現に向けた活力ある組織づくりと運営における校長の指導力

3年次テーマ：学校内外と連携・分担し、カリキュラム・マネジメントの充実を図る校長の指導力

・第2分科会「人材育成」

研究の視点：「令和の日本型学校教育」を担う教師の資質・能力の向上を目指す校長の指導力

3年次テーマ：多様な人材を活用し、教職員個々の強みを活かした学校経営を推進する校長の指導力

○6年度から研究紀要をデータ配信とし、研究協議会の内容のみとしていたが、7年度からは道小提言や各町村校長会の研究報告を盛り込んだことで、内容の充実を図ることができた。

釧路地区 令和8年度 釧路地区校長会研究推進計画

1 研究主題

(令和8～9年度 2か年継続研究 1年次)
『ふるさと釧路でともに生き 自ら未来を切り拓き
豊かな社会を創る児童生徒の育成を目指す学校教育の推進』

2 研究主題設定の趣旨

グローバル化の進展やデジタル技術の高度化により、人々の生活が急速に変化するとともに、社会や経済の先行きに対する不確実性が高まってきている現代、誰もが幸福に感じられる未来社会の実現に向けて、子供たちに社会の変化や直面する問題に向き合い、生涯にわたって主体的に学び続け、自分の人生を切り拓く力を身に付けることが重要である。さらに、多様な価値観をもつ他者と対話し問題を発見・解決できる「持続可能な社会の創り手」として育てる必要がある。

そのような中、学校には、これからの社会をたくましく生き抜き、夢や課題に新たな発想で挑戦できるよう、子供たち一人一人のよさと可能性を伸ばし、自ら考え判断し表現できる力等を確実に育成することが求められており、人と人との絆を深め、ともに支え合いながら、夢と希望に満ちた活気溢れる未来社会の創造に挑戦する子どもを育てることが重要である。

私たち校長は、社会の変化から目指す方向性や目標を読み取り、絶えず挑戦と改善を繰り返しながら、質の高い教育活動を推進していく責務がある。また、教職員が自身のキャリアプランに応じた資質・能力を向上させ、学び続けることができる環境づくりにも努めなければならない。その自負と責任のもと、我が国の次代の担い手となる子供たち一人一人に新しい時代に必要となる資質・能力を育成するという社会の駆動力としての学校教育の役割を果たしていく。

以上のことから釧路校長会は、新しい研究主題は『ふるさと釧路でともに生き、自ら未来を切り拓き、豊かな社会を創る児童生徒の育成を目指す学校教育の推進』と設定した。

3 研究内容

- (1) 『働きやすく、働きがいのある職場づくり』
- (2) 『多様な教育的ニーズへ対応する教育の充実』

4 研究推進計画

- (1) 町村校長会と連携を図り、年間計画に沿った研究を進める。
- (2) 研修部会を定期的開催し、組織的な研究推進を行う。
- (3) 今年度の全連小北海道大会兼道小札幌大会および道中渡島大会、令和9年度道小函館大会での提言に向けて特別委員会を組織し、発表資料・原稿の作成にあたる。
- (4) 11月に「第67回釧路校長会研究協議会」を開催し、研究成果の発表・交流を行う。
- (5) 年度末に研究の成果を「研究紀要」に集録する。

5 研究組織

- (1) 研修部会（釧路校長会担当役員・研修部長＋町村研修部長で組織）
- (2) 特別委員会（釧路校長会担当役員＋研修部＋委嘱する委員で構成）

6 その他

○全道、全国大会への参加の促進

- ①全連小北海道大会兼道小札幌大会
- ②道中函館大会
- ③全日中長野大会